

銀行の貸出と企業の設備投資： 中国の上場企業における投資の負債感応度

法政大学大学院 袁 媛

東京大学工学系研究科 元橋 一之

本研究では、2001～2006年の中国の上場企業について、総負債比率と銀行借入比率が設備投資に及ぼす影響が存在するのか、そして、投資機会の異なる企業の設備投資への影響が異なるのかについて分析を行った。その結果、総負債比率（銀行借入比率）の企業設備投資に与える負の影響は、中国の上場企業にも存在することが明らかになった。また、総負債比率（銀行借入比率）が成長企業よりも成熟企業の方に強い負の影響を与えており、総負債比率（銀行借入比率）が企業の過剰投資を抑制していると思われる。さらに、総負債比率よりも銀行借入比率の方が企業の設備投資への影響が強く、特に成熟企業の投資を抑制する効果が強いという結果も見られたため、中国では銀行がほかの債権者より企業の投資活動を強く監督しているのではないかと考えられる。